

生命・研究倫理

Life and research ethics

生命：A1-05321MS

素養科目 3年／後期 1単位 必修科目

科目責任者 生命創薬科学科長

■教育目的

大学、病院、企業、研究所などにおける基礎研究及び臨床研究は、必ず倫理的ルールに基づいて行われなければならない。本講義では、各研究室において卒業研究を開始する学部学生に対する導入教育として、薬学領域における生命・研究倫理を中心に概説するとともに、研究開発者・技術者・医療従事者等に求められる倫理観を養う。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-①～④】

■学習到達目標

1. 生命倫理とは何か、具体例を示して説明できる。(知識)
2. 研究倫理とは何か、具体例を示して説明できる。(知識)
3. 医療倫理とは何か、具体例を示して説明できる。(知識)
4. 生命・研究倫理に基づいた研究活動を実践できる。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：講義資料に予め目を通しておく（20分以上）。

復習：講義録画や課題等を活用し、知識を整理する（30分以上）。

■授業形態

課題解決型学習（外部機関との連携あり）、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	備考・SBOコード
1～3	生命倫理	医療と科学技術に関わる倫理問題（生殖医療、安楽死、臓器移植、遺伝子診断等）	A(2)-①～④
4～6	研究倫理1	卒業研究開始にあたり知っておくべきこと（実験ノート、データの取り扱い、オーサーシップ、利益相反など）	A(2)-④
7～9	研究倫理2	責任ある研究活動、研究不正の種類と実例（捏造・改ざん・剽窃・疑わしい研究活動）	A(2)-④
10～12	研究倫理3	各分野における研究倫理の留意点（化学系・生物系・医療系研究倫理の具体例を中心に）	A(2)-①～④
13～15	研究倫理4	研究倫理に関する総合演習	A(2)-①～④

■授業分担者

No.1～9：紀 嘉浩 No.10～12：齋藤 望、中舘 和彦、森田 雄二、榎山 暁史 No.13～15：菱沼 滋

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題へのフィードバック：講義内容等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。

成績評価方法：課題（100％）で評価する。

■参考書

「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（文部科学省）

「科学者の研究倫理：化学・ライフサイエンスを中心に」田中智之、小出隆規、安井裕之著（東京化学同人）

「APRIN e ラーニングプログラム（eAPRIN）」（一般財団法人公正研究推進協会）